



発行者
滋賀県PTA連絡協議会
滋賀県PTA安全会
会長 松浦 洋子
制作 広田 委員
印刷 竹田 会堂



楽しもう！夢と希望育む子育てを 語り合おう！親育ちのために

今年度の夏、大津市内の中学校における「いじめ」問題が大きく報道され、社会問題にもなっています。私たちの想像を、はるかに超える深刻な出来事がおこっていたことに、大きな不安と驚き、恐れを感じました。このような中、PTAは何をすべきか、また、何ができるのかを改めて問いかけられている気がします。私たち大人は、しっかり子どもに向き合い、子どもたちの心の訴えを学びあうことが大切ではないでしょうか。

第1回目の講演会は、草津市同和教育啓発師団の上寺和親先生をお迎えし、「つながりを生かす」をテーマに、ご講演いただきました。わらべ歌『お月さま』の歌詞の中に、月

は分け隔てなく人々を照らしている、というくだりがあり、平等な視点を持つことの大切さを感じました。また、『いのちのつながり』という言葉に、人の持つ縦(家族)と横(社会)の絆を再確認しました。

私たちが生活する中で、人とのつながりは、なくてはならないものです。様々な差別やいじめの問題を通して普段の生き方を見つめ直し、他人を尊重する生き方ができるように、今後も取り組みを続けたいと思います。



草津市立老上幼稚園PTA

つながりを生かす

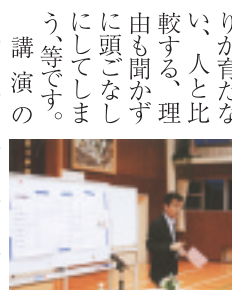


いじめがなくなることを願って

平成24年8月24日(金) 25日(土)の両日、第60回日本PTA全国研究大会京都大会が開催されました。二日目の全体会では、国立京都国際会館で行われ、全国から約八千人が集結しました。「スマイルレボリューション」と題し、シンガーソングライターの加藤登紀子さんに記念講演いただきました。



いのちのち 伝えよう



講演の

テーマは「気づいていますか、家庭の中にある人権」で、子どもたちが歩む21世紀は人権の世紀であり、全員が取り組む必要の有る内容です。しかし内容は身構えするものではなく、家庭の中にある人権、特に子どもとのコミュニケーションが取れていますか?という内容でした。今の問題として、思いやりが育たない、人と比較する、理由も聞かず、に頭ごなしにしてしま、う、等です。

彦根市教育委員会事務局 人権教育課藤井先生を招いて、PTA会員約70名が参加し講演会が行われました。

子どもたちを励まそう、
誉めて育てまじよう

彦根市立城西小学校PTA

東日本大震災直後に作詞作曲された「今どこにいますか」被災された小学生の作文の朗読や作文から生まれた「青いこいのほりと白いカーネーション」の歌に心打たれ、涙が流れました。幾度も被災地を訪ね、被災者に寄り添い励まし続けておられる加藤さんの「おらかに子どもたちが成長できるように、私達は暖



子育て 人権研修会

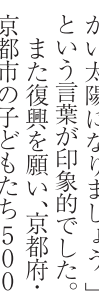
6月15日、本校体育館において保護者対象に「いじめ等研修会」を実施しました。当日約50名ほどの参加者がありました。講師は鈴木一司さん(通称OGGさん・こちらの呼称の方が一般的だそうです)。講演以外にも音楽劇団「てんてこ」の一員と



甲賀市立油日小学校PTA

中でドローローノルト博士の「子どもが育つ魔法の言葉」を例として説明がありました。けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる。とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる。不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる。愛してあげれば、子どもは人を愛する事を学ぶ。子どもは親の鏡です。子どもを誉めて育てまじよう。

引き続き行われた日本PTA近畿ブロック研究大会京都大会では、95名の方々が会長表彰を受けられました。(2・3面に関連記事掲載)



かい太陽になりました。という言葉が印象的でした。また復興を願い、京都府・京都市の子どもたち500名と参加会員で「翼をください」を合奏しました。

いじめ、それはどこでも誰でも起こりうることです。私たちはこの研修を通して、いじめに対する感性を、さらに磨いていかなければならないと改めて思いました。

その話は決して成功談ばかりでなく、どちらかという多かつたようです。それ故に、保護者の目線に立つた、共感を得られる話でした。保護者の中には、大きくうなずいたり、時折涙ぐむ方もおられました。またOGGさんらしくギターの弾き語りを交えて、場の雰囲気盛り上げてくださいました。



して、コンサートで活躍されています。今回は、OGGさん自身の子育てについて語っていただきました。その話は決して成功談ばかりでなく、どちらかという多かつたようです。それ故に、保護者の目線に立つた、共感を得られる話でした。保護者の中には、大きくうなずいたり、時折涙ぐむ方もおられました。またOGGさんらしくギターの弾き語りを交えて、場の雰囲気盛り上げてくださいました。



特集

日P京都大会 子どもの“いのち”を育むPTA活動

親〈P〉と先生〈T〉が手をつなぎ〈A〉地域社会全体で〈C〉子どもを抱きしめる〈H〉PTA活動を目指し、京都で開催された日本PTA全国大会。1日目、10分科会で「組織運営」をはじめ「人権教育」など、それぞれに熱心な討議が交わされました。その中から四つの分科会を紹介します。

第1分科会
組織運営

「見直そう 親子の絆 親同士の絆」

絆

第一分科会は、源氏物語のまちとして、また世界遺産の平等院をはじめとする歴史・文化・資源に恵まれた宇治市にて行われました。

基調講演は、「尾木マサミ」こと、滋賀県出身で教育評論家の尾木直樹さんが、「子育てと教育は愛とロマン！」を演題に話されました。

はじめに、子育てをするうえで大切な事として「子どもをほめる事」「親は子どもに笑顔で明るく接してあげる事」をあげられました。子どもは親にほめられる事で、親の願っている以上に頑張ってくれるし、やる気も出てくる。

また、子どもが楽しいと感じる時は、心がリラックスして集中できるという事なので、親は温かく見守る環境づくりを心がけるといってお話でした。

最後に、学校のいじめ防止プログラムが機能しなかったことに対し、「学校の取り組みを確認し、評価する仕組みが必要で、親やPTAも共同参加して取り組むべき」と強調されました。

「すごく関心のあることでしたので、皆さん真剣に聞いておられました。」

パネルディスカッションでは、PTAの現状の課題について議論され、親がもっと学校に参加したい、「自分たちの学校」という思いで育てて子どもの自立をサポートできる環境づくりが大切だという意見がでていました。

また、親子、親同士、また先生や地域の方々のつながりが、そして、良い事はほめてあげる、悪い事を悪いと言え、またそれをするために、見て見ぬふりをしないおせっかいになる社会にしたいことが必要ではないかとまとめられ、本当にそうしていかないと、いけないと思いました。

テレビでも見てるとおりの独特のしゃべり口調で明るく、そして楽しく話をされたので、会場の皆さんもどんどん引き込まれている様子でした。

その後は題材からはずれ、社会問題となつていいるいじめについて触れられ、「いじめられない子育て」でなく、「いじめ話された」が大切だと話されました。

世界では、社会全体で

第4分科会
広報活動

「姿の见えない伝達の闇」として、教育をみつめる」

大自然の中を下る天下一の舟旅「保津川下り」の起点である亀岡市にある「ガレリアかめおか」を会場に、第4分科会を開催されました。

午前中は、コーディネータとして仏教大学教育学部の原清治教授をお招きして、参加者全員が10名単位で分かれてグループを構成。全員参加型研修としてパネリストになり、如何に携帯端末を使いこなせるのか？どのような子育てをしていくべきか？大量情報の受け取り方、子育てに役立つ情報の選択はなにか？など現状のネットと子どもたちの関係について話し合いを行いました。

いま、ネット上によるいじめなどを防止するために、家庭でルールを決めて家族全員で守ったり、人とのコミュニケーションでケータイとの依存度を少なくすること。学校のできごとや家での様子を気にかけることが大切であること。そして、「姿の见えない伝達の闇」となるこれからの社会には、「人間関係をしっかりと取り結ぶ力」を子どもたちが身につけられるようにしていくことが必要であると学びました。

午後からは、PTA活動の事例紹介、「地域ぐるみで子育てを」実践



発表が行われました。その後、基調講演は元読売巨人軍投手で野球解説者の水野雄仁氏の講演でした。3人兄弟の末っ子で兄の影響で野球に接し、小学6年生の誕生日に巨人軍の王選手が世界記録となる「756号ホームラン」を達成。このことから野球選手になる事を決心し、十年計画でプロになることを考えたそうです。

その経過のなかで、池田高校時代は、「3大会連続の甲子園出場」「夏・春連続制覇」を達成されています。そして、プロ野球選手として読売ジャイアンツで活躍されました。その人生を楽しくお話しただくなかで、「夢を目標に変えて実現することとは、本気度を示して人生を突き進む子どもたちに育てていく。人生は敗者復活だよ。」とコメントをいただきました。

広報分科会へ一日参加し、よりよい子育ての知識をまたひとつ蓄積することができました。

滋賀県PTA連絡協議会

「園児・児童・生徒24時間総合保障制度」について

☆24時間総合保障制度とは？

本制度は、①傷害 ②育英費用 ③賠償責任 ④特定感染症 ⑤熱中症をセットした「子ども総合保険」です。自転車走行中にあって停車中の車両に当たり車に傷をつけ、高額な修理費を請求された等の賠償責任事故が多発しています。万が一の際にも、ぜひご加入されることをお勧めします。

☆中途加入について

年度途中でもご加入いただけます。お申込みいただいた日(毎月20日締切り)の翌月1日から平成25年5月1日までの補償となります。ご希望の方は「滋賀県PTA総合保障制度」事務局にお問合せいただくか、滋賀県PTA連絡協議会ホームページをご参照いただきますようお願いいたします。

【中途加入保険料】

補償開始日	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン
1月1日	4,080円	3,410円	2,750円	2,080円
2月1日	3,080円	2,580円	2,080円	1,580円

※上記保険料には80円の保険料が含まれています。

お申込み・お問合せ

滋賀県PTA連絡協議会
園児・児童・生徒24時間
総合保障制度事務局

☎0120-577-415

受付時間 9:30～17:00(土・日・祝日を除く)
<http://www.shiga-pta.jp/>



第6分科会
人権教育天使の正体
〜金澤翔子と母がたどった軌跡〜

基調講演ではダウン症と診断された娘さんを一生懸命に育ててこられた、金澤泰子氏による講演をお聞きしました。

講演の中でお話しされたことは、お子さんの幼少期から高校進学などに至り、多くのご苦労があったことや、逆に支援くださった地域社会の関わりなどでした。

現在はお母様と同じく書家になられ、各地で活躍しておられます。今回の講演会とディスカッションにおいて感じたことは、いじめ、虐待、不登校、犯罪被害など、子どもを取り巻く環境変化とともに子どもたちの権利を侵害する状況が深刻化しているということです。

こういった状況の中、私たちは親として何ができるのでしょうか。子どもたちは、常に親や、近い大人を見ています。また、その中で、助けを求めるサインを出しているかもしれない

親や大人が、そのサインをキャッチしてあげる、また何でも話せる環境を作っていくのが、私たちの役目ではないでしょうか。

このことが、今後の未来を支える子どもたちへ最大の応援となり、更には、子どもたちが自分自身を大切に、他人を思いやる気持ちを、より大きく育めると、確信しました。

子どもは、親の鏡といえます。

まずは、親や大人が、子どもたちに見本を見せていきたいと思います。地域社会や学校で、お互いを支えあうことのできる環境は、自分たちで作っていくものだと、教えてあげましょう。それが将来的には、地域みんなを支えあう、明るい豊かな子どもたちの未来につながるのですから。



特別第1分科会

スポーツと教育
「乗り越える」

元女子バレーボール日本代表エースアタッカーで、現在はスポーツキャスターとして活躍されている大林素子さんが「トップアスリートとして歩んできた、今だからこそわかること」と題し、講演されました。

冒頭では、大林さんがステージを降りて参加者と背比べをされ、改めて身長の高さに驚かされましたが、会場全体が和やかな雰囲気になりました。

大林さんは幼少時代から、身長が高いことがコンプレックスでした。それが原因でいじめられたこともあり、非常に悩んでおられ、お母さんも、病院で身長が伸びないようにする方法はないか相談されたほどでした。

中学でバレーボール部に入部、身長が高かったため入部時から期待されていたものの、続かず練習に参加しなくなったそうです。当然、練習を続けた他の選手との技術差は歴然で、相手チームからの標的となり、試合には負けましたが、それでも監督は、大

林さんを使い続けたそうです。試合終了後、悔しがっている大林さんに、「努力をしなかった者が悔しがる資格はない」と言われ、努力の積み重ねの大切さに気づかせてくださったおかげで、頑張って練習をするようになり、現在があるのだと話されました。学生時代にバレーの大会で有名になり、今までいじめていた男子たちがサインを求めて来た時には、「勝った」という気持ちだったと話されました。

私もバレーボールが好きで、中学時代から今日まで続けています。妻そして中学に通う次女も、バレーボールをしていることもあり、大変興味深く聞かせていただきました。諦めず、常に前向きな精神と努力が現在につながるのだと云うことを、参加した私たちに教えてくださいます。

講演会の最後には、大林さんへの質問時間が設けられましたが、講演には全く関係のない、子どもたちへの指導方法や、大林さんの恋愛事情などのイレギュラーな質問にも、明るく笑顔で答えられました。最後に、サインボールのプレゼントがあり、会場は、突然写真撮影会となってしまうました。大変盛り上がり、講演会となりました。

おねがい

滋賀県PTA

「書き損じはがき・テレホンカード」の提供にご協力を！

県PTAの各種事業に活用させていただきます。

あなたに世界品質の
安心をお届けする、AIG

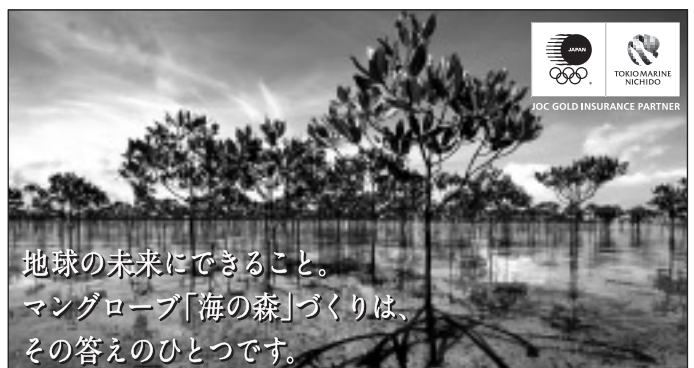
AIG保険

—未来はお客様とともに—
Building the Future with Customers

AIG保険会社はチャーター・グループの一員です。チャーターはAIGの損害保険事業部門で、AIGグループは多数の国や地域で保険および保険関連事業等を展開しており、持ち株会社AIG, Inc.の株式はニューヨークおよび東京の各証券取引所にも上場されています。

チャーターは、損害保険業界の世界的リーダーであり、世界中で、7,000万以上のお客さまにサービスを提供しています。業界内で際立って多様な商品・サービスの提供、損害サービスに関する高い専門性、高い財務力により、チャーターは、法人および個人のお客さまに対して、自信を持ってリスク管理サービスの提供を行います。

AIG保険会社 東京本店
東京都千代田区丸の内1-2-4 アールカウエスト
EIAイコー インシナランス カンパニー WWW.aig.co.jp



地球の未来にできること。
マングローブ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひろがりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかけた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。
*「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」(1999年度～)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度～)

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

☎ 0120-868-100 午前9時～午後8時(平日、土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

11月17日(土)・18日(日)開催

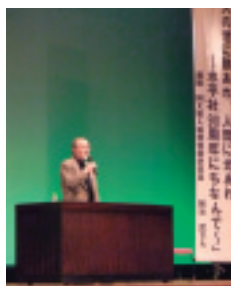
人の世に熱あれ、人間に光あれ

は、この宣言文の最後の
一節です。

全国水平社は、部落出身の三人の青年たちが中心となつて呼びかけ、1922年3月3日、京都市岡崎公会堂にて創立大会が行われ、日本最初の人権宣言といわれる水平社創立宣言を採

く世代を超えた縦のつながりく「伊香立郷中（ごじゅう）教育」

大津市立伊香立中学校PTA



私たち保護者と学校と地域が一体となり、世代を超えた縦のつながりを大切にした取り組みを紹介します。人格が形成される多感な中学生の時期に、多様な考えや価値観に触れ、その中で育っていくことは、極めて重要なことであると思います。子どもたちにも、多くの「一人」との接触

(1) 卒業生が後輩の学習指導！
 毎月、数回、放課後
 に学習会を、地元大
 学生と連携し取り組
 んでいきます。

(2) 親子交流・地域夏祭り！

中学生と連携し、例年「金魚すくい」を行い、地域の皆さんに喜んでいただいています。

(3)里帰り運動会！
生徒会、卒業生、PTAと近隣の大学の皆さんと体育大会を実施しています。

(4)全員参加 地域文化祭！
地域文化祭に中学生全員が参加しています。これを「やまゆめの日」と呼んでいます。

生徒たちがこのような多様な活動の機会を与えてほしい。

みんなの幸せを

私が同推委員長を引き受けたのは、「自分の子どもも学校で人権について勉強をしている。私も勉強しなければ。」という気持ちもあつてのことでした。

四月から研修会などであいさつをすることが増え、研修への参加を呼びかけたり、啓発をしたりしていく立場に立つていくというこの責任の重さを時がたつにつれて感じていきます。

甲西中学校のPTA人権・同和教育推進委員会は、今から十数年前につくられました。その当時中学校で何年かにわたって差別発言が連続して起こったことがきっかけとなり、PTAだけでなく、学校も子どもたちも「人権を大切にしたい」「みんなが安心して通える学校にしよう」とそれぞれの立場で行動に移していき、大きく学校が変わってきました。

みんなの幸せを願って

今一番の悩みは、よいものを企画してもなかなか参加者が広がらないことです。どうしても人権研修というと、構えたり、わざわざ時間を作つてまで……と思つたりする人も少なくなく、積極的な参加が得にくい現状があります。いつも同じ顔ぶれが多く、広がりを感じられない。しかし、研修に参加して下さった保護者の方から、「よかつた」という声を聞くと、やはり嬉しくなります。

何より引き受けてよかつたと思うことは、いろんな出会いを通して自分自身を見つめ直す機会をもらえたことです。

そんなふうに感じる人の輪が、これから広がっていくことを願っています。



湖南省立甲西中学校PTA



でもらえ、いろいろな経験をする中で、次は自分たちがこの地域のために、役に立っていくという自覚が持てると考えています。

心のきずな
61キャンペーン

～守ろう 子どもたちの笑顔と未来

皆さまには温かいご支援を頂き、感謝しております。
しかしながら、まだまだ支援を必要としている子
がいます。より一層のご支援を頂けますよう、よ
ろしくお願いいたします。

『届けてください被災地に！進学の夢と希望を！』

心のきずなキャンペーン 募金活動展開中

☆募集期間 平成24年～28年

ご協力ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

滋賀県PTA募金総額 4,006,360円
(平成24年11月14日現在)

平成14年度より導入されたブロック制度。平成24年度いづれで廃止されることが、5月の総会で決定されたことを受け、10月21日に説明会が開催されました。これまで、県Pの役員（理事）は、県内7ブロックから選出されていましたが、次年度より19市町連Pから選出されました。これまでのブロック研修会は、旧ブロックまたは、複数市町共催で事業申請があつたものについて、従来通り開催していきながら併せて説明がありました。



*** PTA安全会より ***

PTA行事参加中に事故が起きたら…
各単位PTAを通じ下記へご連絡ください。

取扱い代理店 (株)アーク・スリー・インターナショナル

〒520-0051 大津市梅林 1-3-25 大津駅前 1st森田ビル 4F
TEL (077) 527-6823 FAX (0120) 527-606
(平日: 9時30分～17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.shiga-pta.jp/>

引受保険会社 **AIU保険会社**

みずの輪